

指定管理者評価シート

事業名	札幌市豊平川さけ科学館運営維持管理業務	所管課(電話番号)	建設局みどりの推進部みどりの管理課(2536)
-----	---------------------	-----------	-------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市豊平川さけ科学館 ①本館 ②学習棟 ③実習棟	所在地	南区真駒内公園2-1
開設時期	①昭和59年10月2日 ②昭和61年11月11日 ③平成15年3月31日	延床面積	①579.2㎡ ②121.5㎡ ③220.61㎡
目的	豊平川におけるさけの回帰事業を通して生物や自然環境の保全に関する知識の普及啓発を行い、自然の豊かな都市環境の形成に寄与する。		
事業概要	さけのふ化並びに成長過程を観察する場の提供、さけの生態並びにさけの生息できる自然環境の保全に関する資料の展示、さけに関する学習の指導及び豊平川におけるさけの回帰に関する事業		
主要施設	本館、学習棟、実習棟		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会		
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数: 1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	さけのふ化及び成長過程を観察する場の提供に関する業務、豊平川におけるさけの回帰に関する業務、さけの生態並びにさけの生息できる自然環境の保全に関する資料の展示とさけに関する学習の指導に係る業務及び環境教育に資するイベントの計画実施業務		
3 評価単位	施設数: 1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和4年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>当団体の運営方針である、公平・公開・効率・協働・環境の「5つのK」を基に、以下の①～⑤に示す「管理運営の基本方針」を策定した。</p> <p>① 平等・公平な利用の機会を確保し、さけ科学館の公共福祉増進の場としての利用効果を高める。</p> <p>② 関係法令・条例等を遵守し、さけ科学館の利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供する。</p> <p>③ さけ科学館の資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。</p> <p>④ さけ科学館を環境教育のコミュニティ活動の拠点と位置付け、市民や団体、関係諸機関との連携・協働を推進し、集いの場としての魅力を高める。</p>	<p>お客様の意見・要望等や、解説案内・実習・博物館実習・職場体験等の依頼は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、可能な限り受け入れに努め、平等・公平性については適正に確保することができた。</p> <p>管理運営においては、関係法令等を厳守し、適切な利用環境を提供することができた。</p>	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">A</td> <td style="padding: 2px;">B</td> <td style="padding: 2px;">C</td> <td style="padding: 2px;">D</td> </tr> </table> <p>基本方針の実現に対して適正に取り組んでいること及び、関係諸機関と協働した積極的な環境教育の普及活動を評価します。今後も法令を遵守し、質の高いサービスと平等利用の実現に努めてください。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>⑤ 札幌の水辺環境のシンボルであるサケを守り育てる活動を通じて、水辺環境の保全とともに、市民の環境を大切に思う心をはぐくむ。</p>	<p>さかなウォッチングやサーモンウォッチング等のイベントの際は、サケだけでなく、札幌を取り巻く水辺の生物の現状の普及啓発を積極的に行った。河川でのサケや淡水魚類調査の際にも積極的に市民に声を掛けて解説し、近隣住民と情報交換するなど、様々な場面での取組みを進めた。</p>	
<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p>	<p>研修・指導による全スタッフの教育により、平等・公平な利用機会を適正に確保した。また、館内利用やイベント開催時、苦情発生時等の対応については、差別や特別扱いとにならないよう注意をし、適切な対応を心掛けた。イベントチラシ・さっぽろ公園だより・HP・SNS・や館内掲示等により、施設・イベント等の最新情報を広範囲に提供するよう努めた。</p>	<p>平等利用に向け、スタッフへの教育や積極的な情報発信などについて適切に取り組んでいます。さらに、コロナ禍におけるイベント開催に関しても、感染対策を行いつつ柔軟に対応していることを評価します。また、外国人利用者向けの館内標記や緊急時の対応に関する検討等、平等利用の実現について適切に取り組んでいることを評価します。</p>
<p>年齢や障がいの程度、性別、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い等によって、さけ科学館の平等利用が妨げられないよう、また、利用者に不公平感を抱かせることのないよう、徹底したスタッフ教育による管理運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の利用機会の確保に努めた。 ・子育て層が快適にさけ科学館を利用できるよう、授乳希望者への案内・対応を実施した。開館中やイベントの際はさかな館の部屋を授乳室として利用いただくよう調整した。 ・苦情・要望・提案等の申し立てによって差別が生じないよう、スタッフ教育の徹底に努めた。 ・施設利用に関する情報収集を常に行ってスタッフ間で共有し、館内掲示板やホームページにより、必要な情報をリアルタイムで発信した。 ・さけ科学館で実施するイベントやプログラムの情報、河川のサケ観察情報、施設利用情報など、利用者のニーズに的確に応える情報提供を行った。 ・団体利用の連絡情報に基づいて管理作業のスケジュールを調整するとともに、利用者が過度に集中しないよう、利用日時を調整を図った。 ・さけ科学館の管理者側の一時的な事情により、利用者が展示物の見学や体験等の機会を逃すことのないよう、きめ細かい情報発信を行った。 <p>・参加者が限られる実習等については、不公平感の排除に努め、人気の実習については、公正な抽選により参加者を決めた。</p> <p>・イベントの際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数制限を行いつつ、全員が参加できるように行った。</p>	<p>外国人向けの表記については、利用の動向を見ながら、必要性の高い表示を追加し対応している。また、対話の際は、スマートフォン翻訳アプリ等を活用したほか、病気等の緊急時に備えて、多言語救急問診シートを常備し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの参加者人数が集まるイベントについては、事前申込制にするなど、配慮して実施した。</p>	

▽ 地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進

・HES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)の認証を受け、目的・目標を設定して環境活動に取り組んだ。
・光熱水の使用及びごみの排出について、それぞれ削減に努めた結果、前年度比で、LPガスは125.4%、水道は140.1%、一般ごみ排出量は85.0%、電気使用量は103.0%となった。
・「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」の拠点施設として参加しており、今後も身近な水辺の生き物を通じて札幌の生物多様性保全への関心が高まるよう、取組みを進めた。

・EMSの環境目標のひとつであるノー残業デーの超過勤務時間について、前年度実績を上回らないことを目標として取り組んだ。野外調査業務においては、天候・河川増水状況等を見ながらスケジュールを設定する必要があるため、業務に支障が出ない範囲内で取り組むように努力した。
・環境に関する自覚教育を4回実施した。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

・統括責任者、統括責任者代理を配置した。
・年度当初に業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を確認した。
・当初の研修計画に基づき、研修を実施した。その他飼育技術等に関する外部の研修会・会議に参加し、さけ科学館に必要な知識・スキルの取得に努めた。

LPガスは飼育器具等の入念な消毒をした結果、使用量が増加してしまった。水道の使用量は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の緩和に伴い、入館者数が増加したため、使用量が増加した。一般ごみ排出量は、意識をもって努めた結果、減少した。電気使用量は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として換気のため常時換気扇及び空気清浄機を稼働させた結果、若干増加した。
今後もスタッフ全員で改善・削減への取組みに努めていきたい。全スタッフで「日曜日はノー残業デー」という意識を持ち、業務の効率化を図り、エネルギー使用量削減に繋がることを意識して、対応可能な範囲で今後も取り組んでいく。

管理運営体制を整え、問題なく適正に業務を遂行できた。研修等は予定通り実施し、来館者への対応や電話問合せ、飼育管理に役立てることができた。

適正な施設運営や飼育魚の管理を行うことによるガス使用量等の増加はやむを得ないものと考えますが、改善できる部分はないか振り返りや分析を行い、今後もさらなる環境配慮への取り組みが行われることを期待します。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

・来館者の快適性の向上、及びスタッフを含めた安全性の確保のため、危険予測(KY)・ヒヤリハット収集票を作成し、スタッフ全員で情報を共有し、作業手順の改善に役立て、事故防止に努めた。
・草刈り機・除雪機等の作業機械を使用する際は、研修以外にもスタッフ全員に対して口頭により指導を実施するなど、安全確保の取組みを適切に実施した。
・当協会で実施している安全大会(厚別公園、4/12開催)に参加した。
・サケ稚魚餌付けの際は、寄生虫が稚魚体表に付きにくくする「サーモンリキッド」を添加した餌を給餌した。

来館者の事故・労働災害発生はなかったが、さけ科学館業務車両のパンクによる事故が発生した。発生翌日、全スタッフでミーティングを行い、走行時は路面状況に十分注意して運転すること、従前から運転前点検は実施していたが、より細部まで点検するように併せて指導した。
他公園を含めた業務災害の発生に対しては、当団体全体で共有し、迅速かつ適切に再発防止措置を講じることができた。
朝礼では、業務で車両を使用する日及び交通安全週間をはじめ定期的に車両の運転について(通勤時も含む)注意喚起を行った。また、車両を使用する前についても口頭で注意喚起をするように努めた。
今後も全スタッフで安全の確保に努め、利用者の被災、及び業務災害・事故を発生させないよう、気を引き締めて業務に当たる。サケ稚魚に導入した「サーモンリキッド」は寄生虫が付きにくくなり、健康なサケ稚魚を放流することができた。

業務災害については再発防止を徹底し、利用者のみならずスタッフの安全確保にも十分に努めてください。「サーモンリキッド」についての取り組みについて評価するとともに今後も進めてください。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

定期清掃、日常清掃、機械警備、電気設備点検、消防設備点検、塵芥処理、産業廃棄物処理、受水槽清掃、自動ドア保守点検、温風暖房機保守点検、建築物法定点検、駐車場・園路除雪の業務については第三者に委託し、仕様書の通り適切に実施した。

施設・設備等の委託業務は、仕様書の通り適切に実施した。

適切に実施されていることを評価します。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(市民との協働、地域等の連携、運営協議会等の開催)

・さけ科学館ボランティアの会(登録者数12名)では、イベント・飼育補助、施設管理補助等の活動を行った。
 ・民間の活動団体である「真駒内川水辺の楽校」「自然ウォッチングセンター」等の活動に積極的に協力した。※今年度は、雨天や新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントが中止となることもあったが、例年お互いに協力して実施している。
 ・市民や行政・大学の研究者・さけ科学館等の有志による「札幌ワイルドサーモンプロジェクト」の活動として、豊平川の野生サケを優先的に保全し、サケやその他魚類の生息環境の改善等を検討し、サケ遡上数が大きく減らないよう放流数をコントロールする「順応的管理」を導入し、豊平川に回帰するサケ親魚のモニタリング調査、サケ稚魚降下調査等を共同で実施した。
 ・近年、道内で分布を広げている国内外来種のアズマヒキガエルは、令和元年には札幌市南区内での大量発生、繁殖が確認され、在来の両生類など地域の生態系に与える影響が懸念されており、早急な対応が求められることから、市民への外来種問題認知の促進活動に加え、市民団体「かんガエル」・市環境共生担当課への情報提供、調査や防除などの面で協力した。
 ・豊平川に生息している特定外来生物ウチダザリガニの発生源を調べるため、北海道大学・市環境共生担当課・円山動物園と共同で分布域調査を実施した。

開催回	協議・報告内容
運営協議会 3月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・管理業務の実施状況について ・管理運営上の問題点、設備等の改善提案 ・収入確保のための取り組み検討について ・認定動物園制度について
<協議会メンバー> 札幌市みどりの管理課 係長・担当職員 札幌市公園緑化協会事業推進課長・さけ科学館主任(マネージャー)・主任(サブマネージャー)	

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。
 ▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。
 ▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。

ボランティア活動を積極的にサポートし、飼育管理補助や水辺の生き物観察会等において活躍していただいた。
 市民フォーラムは、札幌ワイルドサーモンプロジェクトと共催で新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として会場とZoomによるハイブリッド形式で開催した。
 ウチダザリガニ及びアズマヒキガエルは、地域の生態系に与える影響が大きいことから、今後も積極的に協力をし、普及啓発活動にも力を入れて実施していく。
 地域の団体等からの協力依頼や連携行事に対しては、今後も可能な限り協力するように努める。

運営協議会だけでなく、日頃から所管部署と連絡を密に取るようにした。
 北海道開発局、市環境共生担当課・市河川事業課や水産研究・教育機構水産資源研究所、札幌ワイルドサーモンプロジェクト等とも河川状況やサケ・水生生物の分布状況等の情報共有に努めた。

不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。
 不正経理等はなく問題は無い。

ボランティアや関係機関との協働を行っていることに加え、多様な団体との連携や情報提供などを積極的かつ柔軟に行っていることを評価します。

適切に実施されています。今後も、不正行為等を未然に防止するための取り組みを徹底し、適切な資金管理に努めてください。

<p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>さけ科学館の施設やサービス、維持管理についての苦情等の情報については、苦情等対応報告票に記録して組織で共有する手順を整えている。 令和4年度の苦情はなかった。</p>	<p>利用者から直接、感謝やおほめの言葉をいただくことが多く、スタッフやボランティアの励みになった。 要望・意見・苦情等に関しては、改善の機会ととらえ、今後も計画した手順に従い、適切に対応する。</p>	<p>苦情が発生していません。対応の手順を整えていることを評価します。今後も要望・意見・苦情等に対しては、計画した手順に従い、適切に対応を行ってください。</p>
<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼ アンケートは、来館者及びイベント等の参加者を対象に実施し、分析結果を札幌市へ報告するとともに、職員間で供覧して共有し、改善点等を次回の事業や管理運営に反映させた。 ▼ 施設の管理運営についての自己チェック・評価を実施した。</p>	<p>イベントアンケートでは満足度で高い評価が得られた。自由記述の意見・要望についても改善の材料とした。 指定管理の計画・提案内容の履行状況を定期的にチェックすることで、目標に向けた管理運営を適正に遂行できた。</p>	<p>適切に実施されていることについて評価します。</p>

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)</p> <p>▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金920円(令和4年10月2日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園の担当課長が <p>▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した結果、非正規職員1名を正規職員に転換した。</p> <p>▼ さけ科学館において、業務車両のパンクによる事故が発生した。(11/10)</p>	<p>指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p> <p>事故翌日、全スタッフでミーティングを行い、走行時は路面状況に十分注意して運転することと、従前から運転前点検は実施していたが、より細部まで点検するように併せて指導した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">法令順守や雇用環境の向上に努め、適切に対応していることを評価します。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	法令順守や雇用環境の向上に努め、適切に対応していることを評価します。			
A	B	C	D								
法令順守や雇用環境の向上に努め、適切に対応していることを評価します。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>・維持管理業務の実施時には、施設の利用の支障にならないよう配慮するとともに、利用者に対し十分に案内するよう努めた。</p>	<p>敷地内での作業の際は、声かけや周囲に気を配り、作業車両使</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">利用者の安全確保を優先した作業実施、緊急時の連</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	利用者の安全確保を優先した作業実施、緊急時の連			
A	B	C	D								
利用者の安全確保を優先した作業実施、緊急時の連											

・さけ科学館における拾得物の取扱いは、遺失物法に基づき適正に行った。
 ・真駒内公園駐車場車止め付近にさけ科学館の電話番号を表示し、緊急時に利用者が通報しやすい環境を整えた。
 ・緊急時のスタッフ間の連絡手段として、携帯電話による迅速な連絡が可能な体制を取った。
 ・管理業務の実施に際して、当協会の過失等により札幌市または第三者等に損害を与えた場合に備え、仕様に適合した損害賠償責任保険に加入した。
 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設内の触れる場所への消毒や入口に消毒液の設置、人が集まる状況の際の換気、マスク着用・3密回避などの励行・注意喚起の掲示、館内放送による注意喚起を実施した。

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

・定期清掃、機械警備、電気設備点検、消防設備点検、塵芥処理、産業廃棄物処理、受水槽清掃、駐車場・園路の除雪については、第三者への委託により適切に実施し、仕様書の水準に達した。なお、一部日常清掃はスタッフで行い、経費削減に努めた。
 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、巡回時には事前に放送をかけ、換気・アルコール消毒を行い、お客さまが安心して見学できるように努めた。また、本館玄関・トイレ・さかな館入口付近に、手の消毒を促す、人感センサー付アナウンス機器を設置した。
 ・4/15に、地下観察室上部入り口付近の園路が、経年劣化のため陥没し、落下する危険性があるため、補修工事を実施した。

用時には二人一組で対応するなど、利用者への安全配慮を最優先として作業を実施した。
 除雪機や草刈り機等の使用については、シーズン前に安全教育を実施し、報道等で事故があった際は、その都度注意喚起した。拾得物の取扱いは、遺失物法、当協会の規定、及び南警察署の指示に基づき、適正に対応した。
 今後もお客様が安心して施設を利用できるように努める。

重要な設備等については、札幌市と適切に情報共有した上で、定期点検のほか日常的な自主点検・記録により、突発的なトラブルの予防に努めた。軽微な修繕等は直営または当協会他公園の協力に対応し、経費削減につなげた。
 今後も設備の知識を深めて経費削減、応急処置ができるように努める。
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、巡回時は、お客様が安心して見学できるよう、換気・アルコール消毒を徹底して行った。
 園路陥没の際は、来館者の安全確保のため、陥没個所の養生・注意喚起の表示等で、素早く対応した。

絡体制などの配慮がなされていることについて評価します。

軽微な修繕や日常清掃等を行い経費削減に努めていること、新型コロナウイルス感染症拡大防止について適切な対策がなされていることについて評価します。今後とも、利用者の安全・安心に配慮した維持管理に努めてください。

	<p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全・安心を最優先し、危機管理対策・対応については「予防・未然防止対策」、「初動処置・対応」、「再発防止・対応改善対策」の3段階に区分し、各段階において対策を行った。 ・年度の防災計画を策定し、4月に火災・地震・強風等への対応訓練、3月に融雪期の周辺状況を把握した避難・誘導の消防訓練を実施した。 	<p>火災・地震・強風への対応訓練を実施した。3月に融雪期の周辺状況を想定した消防訓練を実施した。全スタッフと状況を共有し、災害の際に起こりうる事態と対応についてはスタッフ全員で話しあった。</p> <p>台風等による強風で落ち枝・倒木等の被害について、隣接する河川敷地でも発生する可能性があるため、管理範囲外ではあるが安全確保が保てる体制をとるようにした。</p>	<p>防災訓練やイベントでの自己点検など、防災に対する取り組みが適切に行われています。今後も定期的にスタッフ間の情報共有を図り、災害に備えてください。</p>								
<p>(4) 事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ さけ科学館における普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーモンスクール放流式65人(計画60人) ・サケ稚魚体験放流 3回2,692人(計画2,500人) ・知る・みる・カニさん・ザリガニさん29人(計画30人) ・わくわく体験(エサやり・サケタッチ) 15回846人(計画300人) ・さかなウォッチング 3回45人(計画60人) ・公開さかな調査 79人(計画50人) ・サケとふれあうミニイベント 314人(計画1,000人) ・サケの採卵実習・受精体験 4回201人(計画100人) ・サーモンウォッチング・観察会 3回355人(計画250人) ・札幌ワイルドサーモンプロジェクト市民フォーラム 112人(計画100人) <p>計4,035人(計画4,450人)</p> <p>※一部実習は事前申込み制とし、応募者多数の場合は抽選で参加者を決定した。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「サケフェスタ2022」は中止とし、代替イベントとして「サケとふれあうミニイベント」を実施した。</p>	<p>R4年度は、開催したイベントは、お客様が安心して参加できるように新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して行うことができた。</p> <p>「サケとふれあうミニイベント」は、台風の接近及び雨天ため来場者数は伸びなかった。1月に開催した札幌ワイルドサーモンプロジェクト市民フォーラムは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場とZoomを使用したハイブリッド形式で行い、多くの市民に豊平川に遡上するサケの現状と野生サケの重要性を知ってもらうことができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>新型コロナウイルス感染症の状況に即し可能な範囲で事業を実施し、さけに係る普及啓発に努めたこと評価します。</p> <p>来年度以降も、感染状況を見極めながら普及啓発に努めていただくことを期待します。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>新型コロナウイルス感染症の状況に即し可能な範囲で事業を実施し、さけに係る普及啓発に努めたこと評価します。</p> <p>来年度以降も、感染状況を見極めながら普及啓発に努めていただくことを期待します。</p>			
A	B	C	D								
<p>新型コロナウイルス感染症の状況に即し可能な範囲で事業を実施し、さけに係る普及啓発に努めたこと評価します。</p> <p>来年度以降も、感染状況を見極めながら普及啓発に努めていただくことを期待します。</p>											

▽ 生物に関する相談業務

・生物の飼育・生態等に関する質問・問合せ等は計172件あり、それぞれ適切に回答したほか、必要に応じて資料の送付・書籍・専門家の紹介等を行った。

サケのほか、水辺の生き物全般にわたって様々な質問を受け、適切な回答を心掛けた。
今後も書籍や関連資料等を収集し、また、水辺の生物を中心に、研修会や会議にも可能な限り出席して、分かりやすく回答ができるように努める。

多くの方に生物や環境への興味を持っていただくため、今後も適切で分かりやすい回答に努めてください。

▽ さけ科学館の業務に関する情報収集及び提供業務

・水産資源研究所等の研究機関が発行する文献や、ホームページで公表される情報を収集してスタッフで供覧し、展示・解説案内に反映させた。
・業務上有益な研修会・会議等には可能な限り出席するように努めた。

文献等の情報共有により、利用者への適切な案内・回答につなげることができた。
Zoom等を使用したオンラインにおいて、業務上有益な会議・研修会等に積極的に参加し、得られた最新の研究成果等は、利用者への解説に役立てることができた。

外部の研究成果等の情報を積極的に収集し、業務に係る新たな知見を得ることで利用者サービスの向上につなげているものと評価します。

- ・生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク会議(5/11)※メール会議において実施
- ・札幌ワイルドサーモンプロジェクト勉強会(5/21)
- ・サケネットワーク総会及び全道サケ会議出席(5/28)
- ・令和4年度さけます報告会に出席(8/9)
- ・市環境局、生物多様性部会に出席(10/13、3/16)
- ・札幌市河川環境推進会議に出席(10/20)
- ・豊平川河畔林勉強会に出席(11/11)
- ・河川生態学術研究会議に出席(11/15)※オンラインにおいて実施

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

令和4年度

入館者数	52,856	人
解説案内・学習対応	60 件	2, 635 人
外部依頼の実習等対応	27 件	1, 448 人
ボランティア活動(のべ)	138 日	225 人
図書貸出	44 件	88 冊

入館者数は、新型コロナウイルスの規制が緩和されているため、個人・団体ともに入館者が増加した。
来て頂いたお客様に満足していただけるよう、スタッフ全員で丁寧な説明・解説を心掛けた。
イベント等は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて、安心して参加できるように実施した。

A	B	C	D
利用促進に対する努力について評価します。今後、新規・リピーターとも増加するようなイベントの工夫や、きめ細やかな解説・学習対応等を継続してください。			

	<p>▽ 利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスコミ取材の際には、新型コロナウイルス感染症拡大防止も考慮してイベントの告知を入れてもらうよう依頼するなど、利用促進に繋がるように努めた。 ・講師や実習、展示などの依頼については、新型コロナウイルス感染症対策を行い、可能な限り受け入れ、さけ科学館のPRに努めた。 	<p>市広報・マスコミ等を利用して、新型コロナウイルス感染症拡大防止も考慮し、さけ科学館のPRに努めた。また、外部依頼の実習・展示協力等は、PRにも繋がるため、可能な限り受け入れるようにした。引き続き利用促進に取り組んでいく。</p>	<p>市の広報以外のマスコミやチラシ等を利用した積極的な周知を評価します。今後もさけ科学館の知名度の向上と利用促進のためPRに努めてください。</p>								
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報は、さけ科学館ホームページや館内掲示のほか、新型コロナウイルス感染拡大防止も考慮して、市広報・マスコミやその他の関係団体などを通じて提供し、PRに努めた。 ・ホームページは随時手直しをして利用し易さを改善し、サケ観察情報など最新情報の掲載に努めた。 ・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時に対応した。 ・facebook、Twitter ツールの特性を生かし、コロナによる施設開放状況や利用時のお願いを都度アップし、ダイレクトメールでの質問に即時返答するなど、館の管理運営への理解を深めていただくよう努めた。 ・館ホームページのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和5年3月28日に公開した。 ・令和4年度のホームページに120,730件のアクセスがあった。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>イベント情報については、マスコミの別件取材の際にも、新型コロナウイルス感染症拡大防止も考慮して、掲載依頼するなど広報を実施し、利用者増につなげた。館外でのイベント等では、さけ科学館のPR活動を行った。ホームページ及びSNS等では、最新の情報発信に努め、利用者が情報を得る手段としての利用増に繋げるよう努力した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1268 683 1316 705">A</th> <th data-bbox="1316 683 1364 705">B</th> <th data-bbox="1364 683 1412 705">C</th> <th data-bbox="1412 683 1460 705">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1268 705 1460 952"> <p>ホームページでの最新情報の発信に努めている点を評価します。今後も情報提供の場を広げ、新規利用者の増加につなげてください。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>ホームページでの最新情報の発信に努めている点を評価します。今後も情報提供の場を広げ、新規利用者の増加につなげてください。</p>			
A	B	C	D								
<p>ホームページでの最新情報の発信に努めている点を評価します。今後も情報提供の場を広げ、新規利用者の増加につなげてください。</p>											

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A B C D
<p>・売店営業 ・自販機設置 ・受託業務(調査業務・技術指導の業務)7件 ・自主事業申請イベント開催数 5件(その他のイベント等は本来業務) ・外部に対する講師派遣、展示協力、調査研究協力等対応 102件</p>	<p>調査等の受託業務は、本来業務に支障のない範囲で行い、得られた知見は教育・解説活動等に役立った。</p>	<p>適切に実施されていますが、今後も、新たな視点で、より多くの方に満足いただけるような事業を展開していただくことを期待します。</p>
<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>・定期清掃などの第三者委託業務は、市内企業に発注した。 ・売店商品の一部は、「元気ショップ いこ〜る」から仕入れた商品を販売した。</p>	<p>売店では、就労支援施設等で製作されたサケにちなむ小物などを販売し、好評を得られた。</p>	<p>市内企業の優先活用や、福祉施策への配慮がなされていることを評価します。</p>

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		A B C D						
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="236 768 343 862">実施方法</td> <td data-bbox="343 768 970 862">館内にアンケートボックスを設置した。また、イベントでアンケートを実施した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="236 862 343 1227">結果概要</td> <td data-bbox="343 862 970 1227"> <p>・総合満足度:90.3% (回答数31件、市要求水準70%) ・接客に対する満足度:79.2% (回答数24件、市要求水準80%) ・イベントに対する満足度:96.7% (回答数1,083件、市要求水準80%) ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、十分なアンケートを収集することができなかったため、回答数が少なく、判定できず。 ※過去3年間の平均回収件数23件 ※通常開館時の平均回収件数350件</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="236 1227 343 2038">利用者からの意見・要望とその対応</td> <td data-bbox="343 1227 970 2038"> <p>【意見】</p> <p>・ゴールデンカムイの影響でお伺いしました。思ったよりも魚の展示がすごく無料であることにびっくりしました。稚魚も見ることはないので貴重で、水槽で泳ぐ姿が壮大でした。アイヌ関係の情報ももう少しあればいいという感じでしたがすごく勉強になりました。ありがとうございました！</p> <p>・身障トイレに幼児用の補助便座があるとなおよかった。</p> <p>・カワサバと干し鮭がよかった。</p> <p>・20年ほど前、マラソンでさけ科学館の建物を見ながら走っていました。今回初めて、利用させていただきましたが、豊平川の歴史を知ることができいい体験ができました。また、図書の貸し出しも行って子供達に絵本を読んであげようと思います。</p> <p>・子どもたちのために、ずっと残していただきたい施設です。いつも、ありがとうございます。</p> <p>・ベビーカーで入れないところがあった。</p> <p>・とてもきれいで気持ちが良いです。</p> <p>・大学の課題で博物館等の展示についてレポートを書くため来館。様々な種の魚がいたり、解説もわかりやすくなったため楽しかった。</p> <p>・孫三人と。ありがとうございました。</p> <p>・たまたま散策中に公園内に入ってしまったのです。すごいです!! キレイだし生物の表情が良いですー満足してることです。生物全般の飼育にたずさわってききましたが、こちらはととと勉強になりました。展示の仕方や説明など…ありがとうございます。</p> <p>・札幌のマルタウグイはジュウサンウグイになったかとおもいます。</p> </td> </tr> </table>	実施方法	館内にアンケートボックスを設置した。また、イベントでアンケートを実施した。	結果概要	<p>・総合満足度:90.3% (回答数31件、市要求水準70%) ・接客に対する満足度:79.2% (回答数24件、市要求水準80%) ・イベントに対する満足度:96.7% (回答数1,083件、市要求水準80%) ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、十分なアンケートを収集することができなかったため、回答数が少なく、判定できず。 ※過去3年間の平均回収件数23件 ※通常開館時の平均回収件数350件</p>	利用者からの意見・要望とその対応	<p>【意見】</p> <p>・ゴールデンカムイの影響でお伺いしました。思ったよりも魚の展示がすごく無料であることにびっくりしました。稚魚も見ることはないので貴重で、水槽で泳ぐ姿が壮大でした。アイヌ関係の情報ももう少しあればいいという感じでしたがすごく勉強になりました。ありがとうございました！</p> <p>・身障トイレに幼児用の補助便座があるとなおよかった。</p> <p>・カワサバと干し鮭がよかった。</p> <p>・20年ほど前、マラソンでさけ科学館の建物を見ながら走っていました。今回初めて、利用させていただきましたが、豊平川の歴史を知ることができいい体験ができました。また、図書の貸し出しも行って子供達に絵本を読んであげようと思います。</p> <p>・子どもたちのために、ずっと残していただきたい施設です。いつも、ありがとうございます。</p> <p>・ベビーカーで入れないところがあった。</p> <p>・とてもきれいで気持ちが良いです。</p> <p>・大学の課題で博物館等の展示についてレポートを書くため来館。様々な種の魚がいたり、解説もわかりやすくなったため楽しかった。</p> <p>・孫三人と。ありがとうございました。</p> <p>・たまたま散策中に公園内に入ってしまったのです。すごいです!! キレイだし生物の表情が良いですー満足してることです。生物全般の飼育にたずさわってききましたが、こちらはととと勉強になりました。展示の仕方や説明など…ありがとうございます。</p> <p>・札幌のマルタウグイはジュウサンウグイになったかとおもいます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、稚魚放流等の多くのアンケートが集まる時期のサンプル数が減少しているため回答数が少なく、判定ができなかった。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、お客様から貴重な意見の徴収の機会として対面によるアンケートを実施し満足度の向上に繋げていきたい。</p> <p>イベント満足度は1,083件の回答に対して、非常に高い96.7%の満足度となった。今後も新しい企画を考え、既存のイベントの充実を図り、来館者・イベント参加者を飽きさせないように努力する。</p>	<p>接客満足度において要求水準の未達成がありましたが、自主事業等の中止による接客機会の減少など、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいものと推察します。総合満足度については90%と要求水準よりも20ポイント以上高いことから、指定管理者による、相当な努力があったものと判断します。以上より、一定水準の水準が満たされたものとして評価しますが、次年度は要求水準の達成を目指し、より適切な対応を心がけてください。</p>
実施方法	館内にアンケートボックスを設置した。また、イベントでアンケートを実施した。							
結果概要	<p>・総合満足度:90.3% (回答数31件、市要求水準70%) ・接客に対する満足度:79.2% (回答数24件、市要求水準80%) ・イベントに対する満足度:96.7% (回答数1,083件、市要求水準80%) ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、十分なアンケートを収集することができなかったため、回答数が少なく、判定できず。 ※過去3年間の平均回収件数23件 ※通常開館時の平均回収件数350件</p>							
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【意見】</p> <p>・ゴールデンカムイの影響でお伺いしました。思ったよりも魚の展示がすごく無料であることにびっくりしました。稚魚も見ることはないので貴重で、水槽で泳ぐ姿が壮大でした。アイヌ関係の情報ももう少しあればいいという感じでしたがすごく勉強になりました。ありがとうございました！</p> <p>・身障トイレに幼児用の補助便座があるとなおよかった。</p> <p>・カワサバと干し鮭がよかった。</p> <p>・20年ほど前、マラソンでさけ科学館の建物を見ながら走っていました。今回初めて、利用させていただきましたが、豊平川の歴史を知ることができいい体験ができました。また、図書の貸し出しも行って子供達に絵本を読んであげようと思います。</p> <p>・子どもたちのために、ずっと残していただきたい施設です。いつも、ありがとうございます。</p> <p>・ベビーカーで入れないところがあった。</p> <p>・とてもきれいで気持ちが良いです。</p> <p>・大学の課題で博物館等の展示についてレポートを書くため来館。様々な種の魚がいたり、解説もわかりやすくなったため楽しかった。</p> <p>・孫三人と。ありがとうございました。</p> <p>・たまたま散策中に公園内に入ってしまったのです。すごいです!! キレイだし生物の表情が良いですー満足してることです。生物全般の飼育にたずさわってききましたが、こちらはととと勉強になりました。展示の仕方や説明など…ありがとうございます。</p> <p>・札幌のマルタウグイはジュウサンウグイになったかとおもいます。</p>							

【対応】

・今後もお客様が気持ちよく見学して頂けるように、丁寧な分かりやすい説明を心掛け、満足して頂けるように努める。

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	計画	決算	差
収入	41,111	45,926	4,815
指定管理業務収入	39,661	41,312	1,651
指定管理費	39,661	40,955	1,294
利用料金	0	0	0
その他	0	357	357
自主事業収入	1,450	4,614	3,164
支出	40,849	48,014	7,165
指定管理業務支出	40,298	45,379	5,081
自主事業支出	551	2,635	2,084
収入-支出	262	▲ 2,088	▲ 2,350
利益還元	0	0	0
法人税等	262	131	▲ 131
純利益	0	▲ 2,219	▲ 2,219

▽ 説明

- ▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書」により1,294千円の増となった。
- ▼ 自主事業収入は、魚類調査や技術指導等の業務受託により、計画より3,164千円の増となった。
- ▼ その他収入は、特定費用準備資金取崩収入347千円等による。
- ▼ 指定管理業務支出は、光熱水費の高騰や、除雪経費の増加などで、計画より5,081千円の増となった。
- ▼ 自主事業支出は、収入の増加に伴う売店商品の仕入費などで、計画より2,084千円の増となった。
- ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、収益の約半分を繰り入れている。

受託業務は、札幌市内の河川におけるサケ等の生態調査をはじめ、生物環境改善・普及啓発業務など、さけ科学館職員の経験・知識を活用して対応できる業務を受けた。今後も本来業務に支障をきたさない範囲で積極的に受託し、差益を施設運営費に充当すること、業務で得られた知見を利用者に還元することにより、教育普及に役立てていく。
エサやりは、小さい子どもでも簡単にできる体験のため、無料体験のない日でもエサやりができるよう販売しており、利用者に変好評であった。今後も販売を継続し、収支と利用者サービスの向上に努めていく。

A	B	C	D
受託業務により、さけ科学館職員ならではの経験・知識の活用に伴う収益を施設運営費に充当し、本来業務にも役立てていることを評価します。計画と比べ赤字が出ているため、可能な限り維持費節減の努力を継続し、受託業務をはじめとする自主事業の充実を図ってください。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼当協会の財務状況等は、令和4年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題は無い。

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

- ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。
- ▼ 情報公開請求はなかった。
- ▼ 当施設の管理等に係るオンブズマンの現地調査はなかった。
- ▼ 施設使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に施設を使用できない旨の文書を管理事務所に掲示した。
- ▼ 物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。

適 不適

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p><利用状況> 開館中は、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いお客様が安心して見学できるように努めた。 サケ稚魚体験放流の際は、参加者の導線を決め、密にならないように注意し、放流コップの使い回しはやめ、消毒をしてから翌日に使用するようにし、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して行うことができた。 サケ・サクラマス遡上状況に関する問い合わせの際は、場所が川ということもあり分かりにくいいため、分かりやすい丁寧な説明した。 サケ受精卵の展示は、「サケとふれあうミニイベント」前日に用意ができ、イベントに来て頂けたお客様を楽しませることができた。また、「サケ稚魚の群泳」は、お客様からはたくさんの群れで泳ぐ稚魚を近くで見ることができ、大変好評を得ることができた。</p>	<p><利用について> 今後も、引き続き丁寧な案内を心掛けお客様が楽しく安心して見学できるように努める。 タイミングが難しい、サケの親魚・受精卵・発眼卵・仔魚が同時に観察できるよう飼育展示に努める。 市内のサケ遡上状況をできる限り把握することに努め、サケ・サクラマス遡上状況に関する問い合わせの際は、場所が川ということもあり大変分かりにくいのが、分かりやすい案内に努める。</p>
<p><教育普及> さかなウォッチングや公開さかな調査では、多くの親子連れの参加者に市内の水辺の環境を普及啓発することができた。 サケ・タッチ・プールでは、普段さわることのできないサケに触れることができ、大変好評を得ることができた。また、琴似発寒川サケ観察会では、都市部に遡上するサケの産卵環境等を説明し、河川環境にも目を向けて頂けるように解説活動を行うことができた。 採卵実習では、ただ受精させるだけでなく、サケの生態や市内を取り巻くサケの産卵環境について詳しく解説することができ、参加者から好評を得ることができた。 サケの人工受精体験は、新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、3密にならないよう注意し開催した。採卵の際は、ただ見てもらうだけでなく、参加者に卵を少しずつ取り出してもらい、採卵作業の一部を体験して頂き、大変好評を得ることができた。 豊平川支流北の沢川で大量繁殖している「アズマヒキガエル」について、市民団体及び市担当部局と情報を共有し、来館者に解説等で普及啓発活動を行うことができた。</p>	<p><教育普及について> サケ観察会では、今後もサケの生体や産卵環境等の説明だけでなく、河川を取り巻く環境保全についても普及啓発するように努める。 サケのタッチプール・人工授精体験は、小さい子供でも気軽に参加できる親子向けイベントでもあるため、できるだけわかりやすい解説に努め、楽しくイベントに参加できるように努める。 アズマヒキガエルやウチダザリガニ等の外来種の問題については、今後も市民団体及び市担当部局と情報を共有し、来館者に解説等で普及啓発活動をする。</p>

<p><施設管理> 一度に振る降雪量は少なかったが、本館屋根軒下が雪でつながることが多く、屋根に負担がかからないよう適宜に除雪作業を実施した。軒下の除雪時は、必ず複数人で実施するようにし、安全に配慮して行うことができた。融雪期の消防訓練では、実際に外に出て避難場所となり得る箇所の状況を確認し、避難誘導の手順をスタッフ全員で確認することができた。</p>	<p><施設管理について> 消防訓練は年1回実施するが、引き続き季節により周囲の状況が変わるため、様々な状況を想定して実施するようにする。今後もお客様の安全を第一と考えて施設管理に努め、危険な箇所は発見次第素早く対処し、安心して利用して頂けるように心がける。また、お客様の見学に支障がある修繕の場合は、休館日に作業を実施する。</p>
<p><飼育管理> サケ及びサケ科魚類の採卵前に、スタッフ全員と採卵手順の確認を行い、良好な受精卵が確保できるように指導した。配合飼料を食べることを覚えさせるサケ稚魚の餌付時は、残餌が多く出るため、頻繁に掃除を実施するようにし、魚病が出ないように気をつけて飼育するように努め、サケ稚魚飼育の際は、サーモンリキッドを添加した餌を給餌した。事前に研究報告等や他施設の飼育担当者等の情報を調べて給餌を実施し、サケ稚魚が体を擦りつける症状は、以前に比べて減少しているため、効果が出ていると考える。</p>	<p><飼育管理について> サケ稚魚及びサケ科魚類の飼育の際は、最新の研究報告や他施設の飼育担当者と意見を交換し、効率よく健康的に飼育できるように努める。今後もサケ及びサケ科魚類の採卵前に、スタッフ全員と採卵手順の確認を行い、良好な受精卵が確保できるように努める。</p>
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>総合的に良好な管理運営がなされています。また、利用者からの高い満足度を維持していることは、スタッフの丁寧な接客・豊富な専門知識を十分活用した運営によるものと評価します。また、コロナウイルス感染症対応も的確に行われていました。感染症の動向に注視しつつ、今後も環境教育の場として、幅広い利用者層に親しまれる施設を目指し、より一層の情報発信や企画展等を含む新規事業の検討に努めてください。</p>	<p>引き続き、各施設の点検・修繕を実施しながら適切な維持管理を行うとともに、利用者の安全確保、事故防止についての対策を徹底してください。</p>